

2026 年 2 月 5 日

株式会社日立ソリューションズ東日本

在庫適正を支援する BI ツール「SynCAS PSI Visualizer」を SaaS で提供開始

— 属人化しやすい需給調整スキルの継承と定着を促進し AI 時代への対応を強化 —

株式会社日立ソリューションズ東日本(本社：宮城県仙台市、取締役社長：石井 武夫)は、在庫状況を多面的に可視化して問題在庫の特定や在庫計画のシミュレーションを支援する BI ツール「SynCAS PSI Visualizer(シンキャス ピーエスアイ ビジュアライザー)」を 2026 年 3 月より SaaS として提供します。

在庫適正化 BI ツールとは

SynCAS PSI Visualizer は、2010 年の発売以来、在庫適正化に特化したユニークな BI ツールとして、国内外で 200 社を超えるお客様にご利用いただいています。その豊かな表現力は欠品のリスクや在庫のダブつきを一目でわかりやすく可視化し、バックオーダー・横持ち・長期滞留・廃棄等の削減に貢献しています。

背景

なぜ今 SaaS 版なのか

需給調整の業務は属人化しやすく、データドリブンで状況理解・課題発見・原因究明・対策検討を行うスキルは継承が大変難しい、という声をよくいただきます。

SynCAS PSI Visualizer の SaaS は、在庫の可視化分析を複数の拠点・担当者がそれぞれ実施できるため、需給調整スキルの継承や一貫性のある意思決定を実現できます。また、オンプレミス版と比べてリモートワークや出張先での利用が容易で、システムの導入や運用に要するコストを大幅に削減できるというメリットもあります。

なぜ AI 時代に必要なのか

近年は AI 技術の進歩が著しく、可視化や分析は AI に任せておけばよいという考えが一部にあります。しかし、「AI に正しく問いかけ、回答を適切に解釈できるかどうか」は、AI を使う人間のリテラシーに大きく依存します。AI のパワーを最大限に引き出すためには、人間側のデータを読み解く力が求められます。

AI 時代だからこそ、需給調整スキルの継承と定着の促進が、アジリティの高いサプライチェーンを維持する鍵となります。

今後の展望

当社は引き続き、SynCAS PSI Visualizer を含む当社オリジナルブランドである scSQUARE 製品・サービスの提供を通して、製造業および流通業における在庫適正の促進と需給調整担当者の育成に貢献してまいります。

補足情報：SynCAS PSI Visualizer (SaaS)

〔提供開始時期〕：2026 年 3 月（予定）

〔ライセンス〕：最低 3 ライセンスからご利用可能

〔価格〕：ご利用データ量に応じた月額料金（詳細はお問い合わせください）

説明会のご案内（毎月 2 回開催）

https://www.hitachi-solutions-east.co.jp/seminar/online/demand_infosession/

SynCAS PSI Visualizer について

https://www.hitachi-solutions-east.co.jp/products/syncas_psi/

日立ソリューションズ東日本について

私たちは、お客様本位と社員・パートナー重視の考えのもと、独自に醸成したゆるぎない自主技術と日立の総合技術を基盤に、北海道・東北から国内市場はもとよりグローバルに事業を展開し、お客様と感動を分かち合えるソリューションを提供する企業として、地域社会、並びに、国際社会の発展に貢献します。

詳しくは、日立ソリューションズ東日本のウェブサイト(<https://www.hitachi-solutions-east.co.jp/>)をご覧ください。

本件お問い合わせ先

竹内 彩・山本 秀一

株式会社日立ソリューションズ東日本

営業第 2 本部 SQUARE 拡販推進部

hse-info@hitachi-solutions.com

報道機関お問い合わせ先

鈴木 朋也

株式会社日立ソリューションズ東日本

経営企画本部 広報部

〒980-0021 仙台市青葉区中央 3-2-1

hse-info@hitachi-solutions.com